

平成 28 年度第 1 回診断評価等基準委員会議事録

開催日時：平成 28 年 4 月 14 日（木）7:00 - 7:45 AM

開催場所：幕張メッセ国際会議場 1 階 会議室 105

出席者：紺野 慎一（担当理事）、川上 守（委員長）、金森 昌彦、笠井 裕一、
寒竹 司、竹内 大作、橋爪 洋、福井 充、細野 昇

欠席者：なし

報告

1. JOABPEQ、JOACMEQ 使用に関して

非会員（関西医療大学 助教 百合邦子氏）から日本整形外科学会へ「患者立脚型評価質問票使用申込書」で JOABPEQ 使用の問い合わせがあった。学術使用目的であることが確認されたため、紺野理事と川上委員長が協議し使用を許可した（2016.2.23）。

議題

現メンバーでの委員会は今回が最後となる。以下を次期委員会への申し送り事項とする。

1. JOABPEQ,JOACMEQ の適正使用と論文査読時のチェック

既に Publish された複数の論文で BPEQ/CMEQ 使用法の誤りが見られる。平成 27 年度第 2 回の本委員会では、紺野理事長と川上委員長が JOA 理事会や学術誌の Chief in Editor に対し、評価法の適正使用と論文査読時のチェックについての働きかけを行うことが決定された。しかし、現時点でもなお、学会発表や臨床研究論文において BPEQ、CMEQ が適正に使用されていないものが散見される。少なくとも論文査読時には BPEQ、CMEQ がマニュアルに準拠し適正に使用されているかのチェックが必要である。次期委員会ではこの問題を解決するための具体的な対策を協議して頂きたい。（継続）

2. JOABPEQ, JOACMEQ のアプリの検証

JOABPEQ/JOACMEQ for iPad が電通サドラー・アンド・ヘネシー株式会社によって開発され、Apple Store で無料配布されている。このアプリは内容について当委員会での検証が行われていない段階で公開されたものである。これまでのところ問題点は報告されていないが、当委員会として動作状況に不具合がないかをチェックする必要があると考えている。（継続）

3. プロジェクト研究進行状況について

「腰椎変性すべり症に対する手術治療法の有用性に対する JOABPEQ を用いた多施設前向き研究」(担当：寒竹委員)

1 年までの途中経過では除圧 + 固定群と除圧のみ群の 2 群間で有意差なしの結果であり、現在、2 年目のデータを収集しているところである。
(継続)

「腰椎変性側弯症の健康関連 QOL 低下に及ぼす X 線学的 (脊柱変形) パラメータを検討する多施設横断研究」(担当：竹内委員)

先の委員会で既にプロジェクト終了を確認したところであるが、意義のある結果が得られている。今年の側弯症学会と来年の JSSR で発表、JOS に投稿する予定である。(終了)

「術者によって頸椎症の手術成績 (JOACMEQ) に差があるか」(担当：細野委員) 終了の確認

当初の目的を達成し、JOA と比較して CMEQ は評価者の主観が入りにくいとの結果が得られた。今年の JSSR で発表、今後雑誌投稿の予定である。
(終了)

4. JOABPEQ part 4, JOACMEQ part 5 の執筆状況

「20 点で有意差あり」の根拠について、CMEQ は和田英路先生、BPEQ は大鳥先生に執筆を依頼することが先の本委員会で決定されている。和田先生には福井先生から既にデータを渡した。大鳥精司先生には内諾を得ているがまだデータを渡すには至っていない*補足。(継続)

*補足：委員会終了後の JSSR 期間中に笠井委員と大鳥先生の間で話し合いが行われ、その結果 BPEQ については笠井委員が執筆することとなった。

5. JOABPEQ、JOACMEQ 偏差得点の開発の進捗状況

福井委員から以下の報告があった。

偏差得点を得るためには 70 代、80 代のサンプル数をもう少し増やす必要がある (中央値が下がっている、かつデータのバラツキが大きい)。性別・年代別に必要追加数を示すために現在のデータを用いて福井委員が解析を進める。その結果は橋爪委員に送り、橋爪委員からから次期委員会に申し送る。(継続)

6. 日本整形外科学会へのプロモーション

- 診断評価の委員会の再開：担当理事から JOA 理事長に働きかけを行う (継続)

- プロジェクト研究への応募 (継続)

7. プロジェクト研究へのインセンティブ

当委員会としてはプロジェクト研究協力者に対しインセンティブが必要と考えている。JSSR 理事会に対し、今後も引き続き働きかけを行う。(継続)

8. その他

金森委員より、プロジェクト研究（JOA も含めて）のデータを蓄積して再利用できるようにしてはどうか、との提案が成され、出席者の賛同を得た。具体的な方法等について次期委員会で協議して頂く。（継続）

以上